

かじの なおゆき
梶野 尚之さん

浜松ホトニクス株式会社

環境省認定 うちエコ診断員、浜松市地球温暖化防止活動推進員

●人の繋がりを感ぜられる「まち」創りを

浜松市は多種多様な産業や自然環境を持ち、それらのメリットを活かして成長している。成長の要因の一つには、「やрмаいか精神」を発揮し、市民がリーダーシップを持ち活躍していることが挙げられる。しかし、浜松駅周辺に関しては、私が子どもだった 20 年前頃からあまり発展していない。東京のような都心の近代的な「街」を目指すのではなく、自然と活気に溢れ、市民のコミュニケーションの場となり、子どもたちが安心して出かけられ、人の繋がりを感ぜられる「まち」を創ってほしい。



●充実した子育て環境の継続を

私にも 3 歳になる息子がいるが、浜松市の子育て支援には満足している。担当の保健師が自宅に訪問してくれる制度や、子どもの教育施設などの設備環境も充実していて、子育てをサポートする体制が他の自治体に比べて充実していると思う。今後は、財政状況により事業縮小の検討が行われることも考えられるが、是非、この充実した子育て環境を今後も継続し、浜松市が全国から「子供を育てやすい町」と言われるように取り組みを推進してほしい。

●女性の社会復帰だけが支援ではない

女性への支援は社会復帰だけではないと思う。子どもを自分の手でしっかりと育てたい母親も、金銭的な問題等により、十分な子育ても出来ないまま、保育所などに子どもを預け、仕事をしなければならない場合がある。子育てに積極的な家庭をサポートするしくみや、家族が協力して子育てできるライフスタイルを提供することが必要だ。女性に対する支援については様々な方法があると思うので、行政と企業が一体となって改革に取り組んでほしい。

子どもが安心して育てられる制度・設備・コミュニティがあるまち …5点

自然と共存する
エコシティ(再生
可能エネ導入、環境
教育推進、防災対策)
…3点

高齢者社会を逆に最大
限活かすまちづくり
(安全な交通、高齢者の
社会貢献)
…2点

【浜松市への期待度グラフ】

●「もったいない」という考え方を広めたい

環境問題は市民の日頃の生活における取り組みが最も重要だ。日常生活では「もったいない」という気持ちを持つことが大事である。「もったいない」という気持ちがあれば、ゴミが減り、節電につながり、お金も貯まり、良いことばかりである。この考え方を少しでも多くの人に伝えていきたい。高齢者の方は多くの「生活の知恵」を持ち、「もったいない」を普段の生活で無理なく実践している。「生活の知恵」を次の世代に伝えるために、高齢者の方が学校や公民館で講演などを行い活躍できる機会を提供することで多くの人々が学び、めぐり合うことが出来るような取り組みを進めていきたい。

かとう ひろみつ
加藤 寛盛さん

NPO 法人遠州精神保健福祉をすすめる市民の会 事務局長



[加藤寛盛さん]
精神疾患や引きこもりなどに対する正しい知識を広めることで、地域が理解し、温かく見守り支えてくれる社会を目指す。

●障がいやひきこもりに正しい理解を

NPO 法人で活動をして約8年。精神保健福祉士として、市内の引きこもりやニートの子を抱える世帯を訪問し、直接本人と話すことで、解決の糸口を探っている。また、「浜松子ども・若者サポートネット」などの活動を通じて、精神疾患を抱えた若者に対する就労支援も行っている。障がいを持つ人や引きこもり状態にある人に対する健常者の偏見を取り除き、正しい知識や理解を広めることが重要である。このほか、時代の要請もあり、中小企業に出張セミナーを行うなど、就業者のうつ、自殺対策にも携わっている。

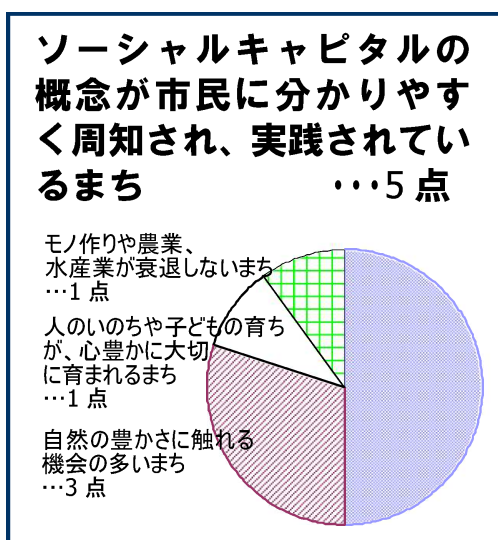
●中心市街地活性化と子どもが思い切って遊べる公園の整備を！

浜松駅周辺、中心市街地が寂しい。買い物ができる百貨店が少なく、大型ショッピングセンターが郊外に集まり、買い物がしにくい。現在、東区に住んでいるが、小さな子どもを遊ばせるような、公園が少ないように感じる。特に、幼児から幼稚園児くらいまでの子どもが安全に遊べる場所をもっと整備してほしい。また、動物園、フラワーパーク、フルーツパークなどの公共施設にも勾配が多く、小さな子どもを抱える親としては、移動が大変というのが実感。

●ソーシャルキャピタルと自助、共助の精神を育むことが重要

今後、今まで人と人が繋がり成立していた地域社会が成立するのか不安を感じる。超高齢社会を迎え、インターネットが普及する中、核家族化や、人間関係の希薄化なども進み、対人コミュニケーションの量と質が絶対的に減っている。こうした地域を支えていくためには、ソーシャルキャピタル、自助、共助の精神を育むことが重要である。このような精神を市民が共有し、実践されるようなまちになることを望む。今後の政策も、人や地域を育てる、世代をつなぐということに重点を置くべき。私自身、現場で感じることを、様々な機会を通じて発信していきたい。

地域を支える存在になる子どもたちを育てる親も、しっかりと子育てに向き合い、子どもが心身ともに健やかに育ち、心豊かに大切に育まれるまちになってほしい。



【浜松市への期待度グラフ】

かとう やよい
加藤 弥生さん

浜松市消費者団体連絡会

●消費者の安全安心のために地域で連携を！

消費者の安全安心を守るためには、地域で相談できる体制づくりが重要と考えている。

消費者団体について、水窪など合併市町村の中で、活動がない地域や、あっても十分な連携が取れていない地域がある。まずは、出前講座などを通じて、他地域との接点をつくっていききたい。

また、悪質商法によるトラブルが多いこともあり、消費者教育の対象を、小学生や高齢者だけでなく、食育などを通じて、幼児などにも広げていきたい。



[加藤弥生さん]
税金や年金、介護保険料など個人負担が高くなり、将来に不安を感じる。

●地域全体で、子どもを見守り育てる環境を！

昔に比べ、地域で子どもたちを気にかけてたり、叱ることが少なくなってきた。また、家庭でも、登校拒否などの子どもたちの切実な問題に、正面から向き合うことが減ってきたのではないかと感じるが多々ある。

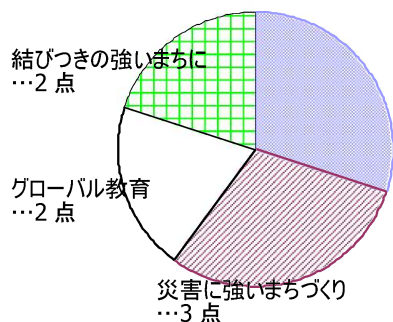
地域でのつながりにより、子どものことを話し合い、子育ての環境づくりが必要である。子どもたちには、グローバル化に対応できる様々な体験を通して、豊かな対人関係を培ってほしいと考えている。

●互助共助により、安心な生活環境づくりを！

今後、人口が急速に減少していく中、公的コストを抑え、維持可能なまちづくりを進めるためには、家族や地域の人たちが、お互いに助け合う共助の意識を高めることが求められる。

これから、老若男女を問わず、お互いを認め合い、理解し合うことが、大事であって、近くの住民同士で、定期的に話し合う「しゃべり場」をつくることも良い方法と考える。

公的コストが抑えられたまちを…3点



【浜松市への期待度グラフ】

●元気なまち浜松の実現を！

今、浜松は、製造業の生産拠点が海外進出を進めるなど、これまでと違って、ものづくり産業を取り巻く環境が非常に厳しくなっている。また、まちなかや駅から市役所までのエリアを見ても、人の流れも物の流れも感じられない。

浜松は、自然環境に恵まれ、交通の便も良い。食べ物や特産品も豊富にあり、他地域の人たちから、羨ましがられることが多い。浜松がこうした魅力を十分活かし、再び、県内・全国で最も元気のあるまちとなっ

かみじま ひろし
上嶋 裕志さん

姫街道連絡協議会 会長

いにしへの町づくりの会 主宰

●生産拠点としての魅力を！

ものづくり都市として、多くの企業の発祥地であることは自慢できる。しかも、本社が市外に出てしまった企業や生産の拠点が海外となり、それに伴い中小企業も海外生産となりつつある。市内に魅力のある生産拠点をつくりだしていないことが問題である。また、テクノポリスも、知識集約度の高い産業構造を持つ地方都市の創造を基本理念として掲げてきたが、現在は地元の雇用や技術向上に活かされていのではない。

企業立地の点では、浜松駅から大都市に行く時間は短縮されている一方で、市内の移動時間が長いことは商談や会議に不利である。30年後には、浜松駅を中心とした地下鉄で移動時間を短縮するとよい。環状線はレールバスにすればよい。

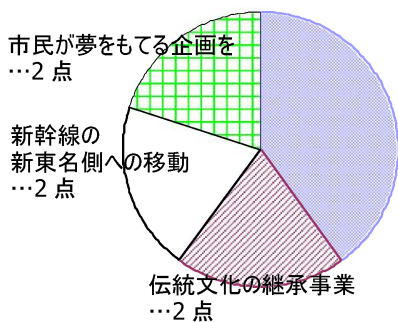
●管理者不明の土地の問題を解決する

資産価値の無くなった山林や農地には相続登記の手続がされずに、管理者不明の土地がある。時をおいての相続や道路事業・農地集約事業を行うときには、遡っての相続人すべての同意が必要となるため、相続手続や事業の執行に大きな支障を来す。30年後には、未相続の土地問題が更に増えると思われる。行政の積極的な対応が必要だ。

田舎に住みたい、自給自足をしたいという退職後の人たちがこれから増えるのではないかと考える。管理者不明の農地問題を解決してクラインガルデン（宿泊施設付きの市民農園）などに変え、地元の住民が農業指導をするような仕組みをつくれればよいと考える。管理者不明の土地の問題解決は、中山間地域の活性化にもつながるのではないかと考える。



都市交通の充実～浜松駅を中心とした地下鉄や浜名湖東岸のモノレールを…4点



【浜松市への期待度グラフ】

●若者にもっと活躍してほしい！

以前は若者リーダー養成事業もあり、地域で何かやりたいという若者が集まれる「場」があった。若者たちが企画立案できるよう、まずは行政指導で地域づくりや仲間づくりのテーマをもとに「若者塾」のような場を協働センターに設けたい。30年後、このような若者が地域活動を担っていかねばならないと考える。

浜松市には多くの伝統文化や歴史文化もあり、これらは、「ふるきを訪ねて新しい文化を創る」地域を活性化できる可能性を秘めた資源である。また、歴史・伝統文化とその魅力を伝える、後継者が少なく浜松市全体の問題として捉えて、行政からの伝承事業への支援や地域と連携し担い手を増やす事業を行う必要がある。

かみや かずき
神谷 和輝さん

浜松市消防団第24分団所属

●子どもたちの笑顔が溢れるまちづくり

大学時代に大学が公民館と連携して講座を開き、そこで子どもたちにスポーツ指導などを行った。その際、ボール遊びを通じた子どもの運動能力の低下や子どもが蝉取りの方法を知らないことに驚かされた。

行政主体ではなく、大学や市民活動団体などが中心となって、公民館講座などを通じ、子どもたちに虫取りやボール遊びなどを教える機会が増えればよいと思う。

また、子どもを産み、育てやすい環境をつくる施策を進めて子どもを増やし、子どもたちがみんな笑顔で、外で元気に楽しく遊べるまちづくりを進めてもらいたい。

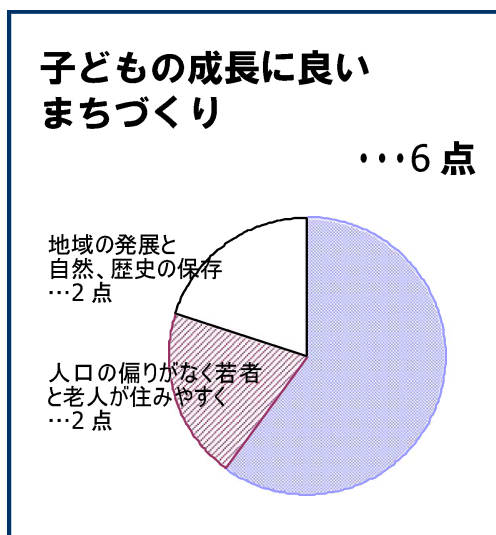


●大学生などが消防団員に！

大学2年生から消防団員として参加しているが、当時浜松市では、大学生の団員は自分一人だけと言われた。現在、大学を卒業し、社会人となったが、自分より年下の団員に出会うことはない。

浜松市の消防団を支えているのは40代の人たちである。他都市では、女性や大学生などが消防団に参加している。浜松市には、数多くの大学や専門学校が存在しており、これら学生が消防団員となれば、仕事を持って消防団に参加している人よりも、時間的に融通が利く分、緊急時に迅速な対応ができる可能性がある。

自分もそうであったが、当初は、大学生が消防団員になれないと思っていた。しかし、大学生でも消防団員になれることを知り、参加した。知らないために参加していないということも考えられるので、もっと積極的にPRすればよいのではないか。



【浜松市への期待度グラフ】

●まちブラが楽しめる「まちなか」を

浜松のまちなかは行っても楽しい場所ではない。

買い物をせずただブラブラしているだけでも楽しめる場所に変化してほしい。

浜松人は、ガソリン代をそれほど気にしないが駐車料金を気にするように感じる。まちなかの駐車場は2時間くらい無料化とすれば、もっと人が集まる。

また、暇つぶしから情報を入手する人が多いので、もっとフリーペーパーを活用して、「外に出るきっかけ」をPRしたらどうだろうか。

か も ひろ こ
加茂 博子さん

JGAP 指導員
エコファーマー



●地元のの人に地元の食材を食べさせたい

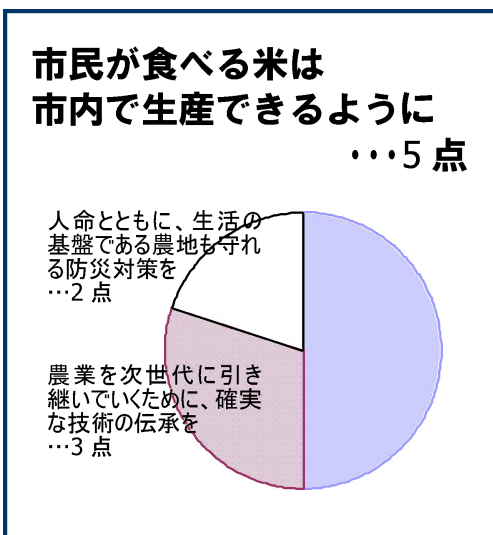
私の生産した米を食べてくれた人が、生産者が私だと知らずに「地元でもこんなおいしいお米がある」ということを言っていたことを知ると、本当に幸せな気持ちになる。現在は、直売や小売店舗への直接卸を中心に販売をしており、相手の顔が見える商売をしている。静岡県は米の輸入県であるが、地元でもおいしい米をつくることができるということを地元の人にもっと知ってもらい、静岡県民の食べる米は静岡県内で生産できるようにしたい。

●その昔、私の水田にも津波が来ていた

大学の研究者が過去にどの辺りまで津波が来ていたかを調べたことがある。現在耕作している水田にも津波が来ていたということがわかった。先日、田を耕していたら、大きな岩が出てきた。これも、きっと過去の津波で流れてきたものではないかと考えている。防潮堤の整備も進み、津波から人命を守ることができるかもしれないが、田んぼが海水に浸かってしまったら、しばらく稲作はできない。生活の基盤であるだけに、行政には防災対策や迅速な災害対応を期待したい。

●限られた学びの機会を大切に

就農を希望する若者が増えているように感じる。県の制度等を活用し、1年間の就農経験のある人を雇用したこともあるが、本当に農作業に従事していたことがあるのか疑問に思うくらい、何も知らなかった。農業従事者は、自分の持っているノウハウを教えることに慣れておらず、新規就農者も、世代のギャップもあり、コミュニケーションがうまく取れていないと感じる。農業は1年サイクルの仕事であるので、1つの作業は1年に1度しか経験できず、学びの機会は限られている。農業従事者、新規就農者が互いに歩み寄りながら、次の世代の農業のため、限られた学びの機会を大切に、技術、ノウハウの伝承を行ってほしい。



【浜松市への期待度グラフ】

●補助金行政の次の展開は

将来の人口減少とそれに伴う税収の減少から、農業振興のために行政が補助金を拠出し続けるには限界がある。補助金以外の方法で行政が農業振興を行うとしたら、情報発信の支援ではないか。農地を貸したい人と借りたい人のマッチング支援や、販路開拓のためのプロモーション、さらには、6次産業化のための手法の支援、働き手を求める人の支援などを行政が効果的に行うことにより、情報の送り手・受け手ともに信用力の高い情報の授受ができ、効果的である。

かわい しょうじ
川合 正二さん

浜松市消防団中区支団所属

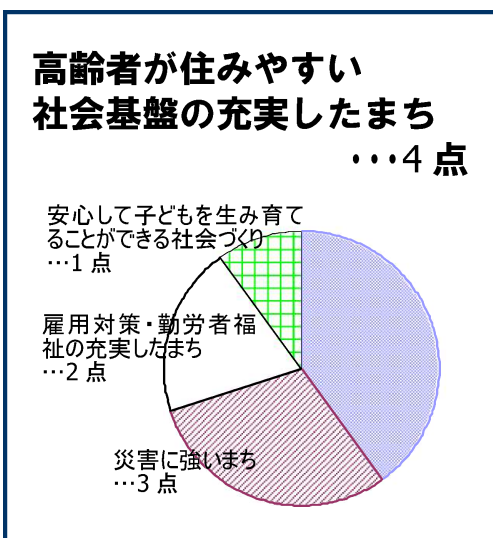
●市民一人ひとりが地域を守る一員！

防災対策を進めるに当たり、市民の果たす役割は大きい。災害が起こった時、市民の行動によって被害を未然に防ぐことが可能である。例えば、タンス等の家具を固定することで、家具が倒れて下敷きになってしまうといった被害を防げる。防災についての知識を習得し、実際に行動をとり、地域を守る一員だという認識を市民一人ひとりが持ってほしい。

また、防災に関して意識の高い自治会長がいる地域では、地域の意識も高いと感じる。やはり先導的な人の意識が高いことは大切である。消防団としては、プライバシーの課題はあるが、高齢者で一人暮らしの人を把握し、災害時に役立てるよう、消防団・民生委員・自治会とのネットワークを構築することが必要であると考えている。

●経験値がものを言う！

分団ごとに団員数・年代が様々である。郊外には5年ほどで団員が交代する消防団もある。私は多くの経験値を積むことによって災害に対する適切な行動がとれ、二次災害を未然に防ぐことができる。しかしながら、実際には経験の少ない団員だけで出動する時もある。その時には、上に立つ幹部がしっかりと指揮をとることができれば良い。行政には、火災だけでなく、風水害等の様々な災害時に消防団をもっと活用してもらいたい。



【浜松市への期待度グラフ】

●BFC・浜松まつりを通じて人員確保！

人員の確保に当たって、自治会からの推薦や自治会長が勧誘に行くという方法が良いと考えている。しかしながら、現実的には大変な手間と時間がかかる。

BFC（少年消防クラブ）の活動は、地域の消防団と子どもたちの繋がりをつくる。消防団員との会話や実際に消防車に乗っての広報活動により、消防団に憧れを持ち、大人になった時に入団してくれれば幸いである。また、伝統ある浜松まつりで若者を勧誘することが一番多い。地域コミュニティの確保、また、消防団員との縦のつながりによって人員の確保ができていく。

それぞれの地域で団員の確保が難しい状況ではあるが、地域に根付いた活動を通して団員確保の努力をおこなって行きたい。

かわい まさし
河合 正志さん

浜松まちなかにぎわい協議会事務局長



●まちづくりの組織づくりが重要である

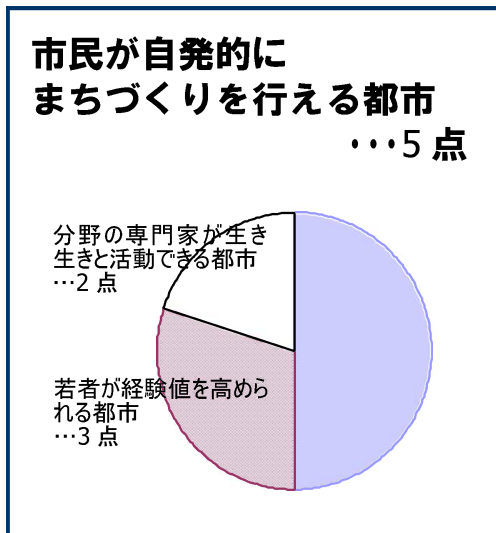
まちなかの店舗の業態について、物販店舗が減少し、飲食店が増加してきていると言われているが、これは、消費動向がモノの消費から時間消費にシフトしてきている。しかし、その傾向がいつまで続くかは予測不能である。まちなかにぎわい創出に必要なのは、正解を見つけようとする事と共に、過去の成功体験に固執することなく時代の変化に柔軟に対応できるまちづくりを行う組織をつくることであると考えている。

●子どもたちでにぎわうまちなか

まちなかにぎわいの創出という、どのような店舗を入れるか、古くなった建物をどのように改修していくかなど、ハード整備から入る手法もあるが、他の方法もある。近年、子ども向けの職業体験施設が注目を集めているが、まちなかの店舗が子ども向けに講話を行ったり、職業体験を行ったりして、まちなか全体をテーマパーク化する方法もある。実際に、浜松こども館には多くの親子が来館している。その子どもたちがこども館からまちなかに出てくる仕掛けづくりがうまくできれば良い。

●行政職員はその役割を再構築する

仕事の関係上、行政機関の職員と仕事をする機会が多い。規制を扱う部署の職員は関連する法律知識があることは間違いない。しかし、法律事項ではなく、ある分野の振興や活性化など、テーマに沿った業務を行う職員は、その分野の専門家と比べ、実践的な経験が多くはない。これは、職員が定期的に異動するため、仕方のないこと。これからの行政の仕事は、分野で信頼のできる人や組織を見つけ、その人が仕事をしやすいように規制を緩和するなど、後方支援の仕事に徹した方が、上手くいく場合もあると思う。



【浜松市への期待度グラフ】

●浜松の若者にもっと経験を

以前、広告関連の仕事をしていた経験があり、テレビコマーシャル制作では、東京の企業は数千万円の制作費であるのに対し、浜松の企業の制作費は数十万円程度であった。これだけ金額が違えば、同じ1本のCM制作でも、経験する仕事内容が相当変わってくる。仮に同じ能力の人が東京と浜松で仕事をしていたら、こうした経験値の差が、その分野での能力の差につながってしまう。浜松の若者がもっと経験値を積むためにも、本物に触れ、多様な経験を積むことができる環境がもっとあれば良い。